

## 関東がん専門医療人養成プログラム

このプログラムは、多様な新ニーズに対応するがん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン 関東がん専門医療人養成拠点事業教育コースの一環として開講するものである。履修者は、あらかじめ所属研究室の責任者の承諾を受けた上で、事前に所定の手続き(注1)を行うこと。その上で以下の必修科目、選択必修科目及び選択科目を合わせて30単位以上履修すること。本プログラムにおいては、以下の3コースを新設する。履修者は、自身の研究テーマに応じた①～③のいずれかのコースに所属するものとする:①がんゲノム医療人養成大学院コース、②小児・AYA・希少がん専門医療人養成大学院コース、③包括的ライフステージサポート医療人養成大学院コース

### 【履修方法・修了要件】

| 科目区分                            | 科目群                             | 条件又は科目名等   | 修得単位数  |   |
|---------------------------------|---------------------------------|--|--------|---|
| 専門基礎科目                          | 専攻共通科目                          | 必修「イニシエーションセミナー」(1単位)<br>(生命システム医学専攻に所属する学生のみ必修)                 | 11～12  | } |
|                                 |                                 | 必修「医学研究概論」(1単位)  |        |   |
|                                 |                                 | 必修「医学セミナー」(3単位)  |        |   |
|                                 |                                 | 必修「医学特殊研究」(2単位)  |        |   |
|                                 |                                 | 必修「医学特別演習」(5単位)  |        |   |
| 専門科目                            | 専門科目                            | 必修「生命システム医学概論」(1単位)<br>必修「疾患制御医学特殊研究」(2単位)<br>(所属する専攻の科目を履修すること) | 1～2    | } |
|                                 | がんプロ必修科目<br>(e-learning)        | 必修「がんの基盤的知識」(2単位)  | 8      |   |
|                                 |                                 | 必修「総論:臨床腫瘍学」(1単位)  |        |   |
|                                 |                                 | 必修「各論:臨床腫瘍学」(1単位)  |        |   |
|                                 |                                 | 必修「臨床研究と統計学」(1単位)  |        |   |
|                                 |                                 | 必修「がんと倫理」(1単位)   |        |   |
|                                 |                                 | 必修「精神腫瘍学・社会腫瘍学」(1単位)   |        |   |
|                                 | がんプロコース別総論<br>(e-learning)      | コース別総論必修「がんゲノム医療」(1単位)   | 1～(注2) |   |
|                                 |                                 | コース別総論必修「小児・AYA世代・希少がん」(1単位)                                     |        |   |
|                                 |                                 | コース別総論必修「ライフステージに応じたがん医療」(1単位)                                   |        |   |
| グループ選択必修科目(注3)<br>(e-learning等) | 所属するグループが定める選択必修科目を履修すること(別紙参照) | 4～   |        |   |
| グループ選択科目(注4)                    | 所属するグループが開設している選択科目を履修すること      | 4～   |        |   |
| 修了単位数                           |                                 |  | 30     |   |

・標準的には2年次終了時まで、上表に基づき30単位以上を修得し、中間評価の合格を経て、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。(本プログラムで開設する必修科目、グループ選択科目、がんプロコース別総論必修科目は、主にコンピュータ上で受講するがんプロ専用eラーニングシステムを利用する。)

注1: 所定の手続きとは、通常のコンピュータ上(TWINS)での履修申請に加え、大学院教務へがんプロ教育コース履修申請書(専用用紙)を提出する事である(がんプロ専用eラーニング聴講用ID、パスワード発行のため)。その際に、上記がんプロ3コース(①～③)のうち、研究テーマに沿ったいずれかのコース所属を決めて届け出ること。

注2: がんプロコース別総論必修科目の3科目(「がんゲノム医療」、「小児・AYA世代・希少がん」、「ライフステージに応じたがん医療」)については、自身のコースに相当する1単位は必須とし、3科目を取得することを推奨する。

注3および注4: 専門科目(グループ選択必修科目およびグループ選択科目)については、自身の所属グループが求める科目を履修すること。

このプログラムは、本学独自のプログラムであり、プログラム修了者に人間総合科学研究科医学二専攻において『関東がん専門医療人養成プログラム修了認定書』を交付する。

各グループの選択必修科目について

| グループ名            | 選択必修科目名（単位数）               |
|------------------|----------------------------|
| 放射線腫瘍学グループ       | 「臨床腫瘍学（放射線腫瘍学）講義及び実習」（4単位） |
| 腫瘍外科学グループ        | 「臨床腫瘍学（外科系）講義及び実習」（4単位）    |
| 腫瘍内科学グループ        | 「臨床腫瘍学（内科系）講義及び実習」（4単位）    |
| 緩和医療・精神腫瘍学グループ   | 「緩和医療・精神腫瘍学講義及び実習」（4単位）    |
| 基礎腫瘍学グループ        | 「基礎腫瘍・がん医療開発講義及び実習」（4単位）   |
| 先端医療医学物理学指導者グループ | 「基礎医学物理学」（6単位）             |
|                  | 「治療医学物理学」（6単位）             |
|                  | 「医学物理学総合実習」（4単位）           |
|                  | 16単位                       |
| 腫瘍薬学グループ         | 「臨床腫瘍学（薬学系）講義及び実習」（4単位）    |

\*グループとは自身が所属する研究室を意味する。